

縄文時代～古墳時代

縄文時代

紀元前14000年頃 - 紀元前10世紀頃

縄文土器 (縄のような模様がついた土器)
貝塚 (食べ終わった貝や魚の骨などを捨てたもの)
たて穴住居 (ほった地面に柱と屋根をつけた住居)
土偶 (祈り、魔よけのためにつくられた)

弥生時代その1

紀元前10世紀頃-3世紀頃

弥生土器 (赤褐色、薄手でかたい)
高床倉庫 (ねずみや湿気をふせぐ)
銅たく (祭りのときに使われた)・銅鏡
稲作 (村ができはじめ争いも起き始める)

弥生時代その2

中国の歴史書

『漢書』地理志

紀元前1世紀頃日本に100余りの国があったことを示す。

『後漢書』東夷伝

奴国 (現在の福岡県)の王が金印を授けられたと示す

『魏志倭人伝』

邪馬台国の卑弥呼についてが書かれている

邪馬台国
(卑弥呼が女王の国)

卑弥呼

(魏に朝貢して『親魏倭王』
という称号と金印をあたえられる)

古墳時代

3世紀半ば頃-7世紀末頃

大和政権 (王と有力な豪族たちから成る勢力)
古墳 (前方後円墳世界最大級は大仙古墳)
大王 (大和政権の王) はにわ (古墳にならべられた)
渡来人 (朝鮮半島から移り住んだ人々)

↓
須恵器 漢字 儒学 仏教